

理工学研究科

教育プログラムの名称：ものづくり技術経営学専攻

授与する学位の名称：博士

【修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院理工学研究科の修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)のもと、教育プログラム(ものづくり技術経営学専攻・博士後期課程)では、以下のような知識・態度・能力を獲得した学生に「博士」の学位を授与します。

1. 専門領域及び関連する技術分野に関わる幅広く深い知識を身に付けている。
2. 科学技術の発展と多様化に対応できる論理的な思考力と記述力、発表と討論の能力、及び国際的な情報収集能力を身に付けている。
3. 学術的、技術的問題を自ら捉えてその意味を深く理解し、調査分析と定式化により仮説を検証する能力を身に付けている。
4. 習得した知識と技能を自在に応用できる能力を身に付けている。
5. 革新的な方法を問題解決に適用し、自ら創造性を十分発揮できる能力を身に付けている。
6. 考察、検証及び議論を通して多元的にもものづくり技術経営学分野に関する研究を進め、工学の発展に寄与する学位論文を執筆できる。

【教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院理工学研究科の教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に沿って、ものづくり技術経営学専攻(博士後期課程)の学生が体系的かつ主体的に学習できるように教育課程を編成し、これに従って教育を行います。

1. ものづくり技術経営学(MOT)専攻分野の基礎から先端分野に及ぶ体系的な授業科目を配置する。
2. 機械、電気電子、情報、化学など工学基礎技術をバックグラウンドに、ひと、もの、かね、情報の観点からの着眼とした技術マネジメント、特にデータマネジメントを考慮した教育科目を配置する。
3. 学位取得後に社会で学生の能力が発揮できるよう、応用力を養う授業科目を配置する。

4. 産業の現場、各種研究施設又は他専門分野の研究室において、工学に対する視野を広め、問題提起・解決能力を養う授業科目を配置する。
5. 専門的かつ多面的な考察を通してものづくり技術経営学分野に関する論文を執筆できるべく、適切な助言・指導を行う。

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

◆求める学生像

博士後期課程では、以下を持つ人材を口述試験により選抜します。

- 専門分野に関する基礎学力を有し、さらに深く学ぼうとする意欲
- 専門分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探求や研究開発に取り組む積極性と社会に貢献する意欲
- 自ら考えて決断、行動する力
- 他への思いやりの心、協調性と高い倫理観
- 専門分野を含む幅広い分野に対する深い関心と応用力
- グローバルな視野と世界で活躍する研究者・技術者を目指す意欲

◆入学者選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- (1) 一般入試（口述試験、書類審査の結果を総合して判定）
- (2) 社会人入試（口述試験、書類審査の結果を総合して判定）
- (3) 外国人留学生入試（口述試験、書類審査の結果を総合して判定）